

公益社団法人岸和田青年会議所経理規則 新旧対照表

新	旧
<p>第 5 条（予算編成）</p> <p>予算は委員長等の事業計画案に従い理事長がこれを立案し、理事会の決議を経て理事長がこれを行う。</p>	<p>第 5 条（予算編成）</p> <p>予算は委員長等の事業計画案に従い理事長がこれを立案し、理事会及び総会の決議を経て理事長がこれを行う</p>
<p>第 6 条（予算期間）</p> <p>予算期間は、定款第 48 条に定める期間とする。</p>	<p>第 6 条（予算期間）</p> <p>予算期間は、定款第 33 条に定める期間とする。</p>
<p>第 10 条 （理事長専決事項）</p> <p>次の事項は理事長がこれを行う。</p> <p>（1）予算の執行</p> <p>但し、総会への予算報告が年度開始後となる場合には、その報告をするまでのあいだは前年度における理事会の決議による予算を予算とみなし執行する。</p>	<p>第 10 条 （理事長専決事項）</p> <p>次の事項は理事長がこれを行う。</p> <p>（1）予算の執行</p> <p>但し、総会による予算決定が年度開始後となる場合には、その決定を得るまでのあいだは前年度における総会の決定による予算を予算とみなし執行する。</p>
<p>第 11 条（予算科目外の支出）</p> <p>予算科目外の支出をしようとする場合には、理事会の決議を経てこれを行い、総会において報告しなければならない。</p>	<p>第 11 条（予算科目外の支出）</p> <p>予算科目外の支出をしようとする場合には、理事会の決議を経てこれを行い、総会において承認を得なければならない。</p>
<p>第 16 条（決算報告の提出、承認）</p> <p>理事長は、決算報告を事業年度終了後延滞なく作成し、監事の監査を経て次年度理事会の決議を経た後、事業年度終了後次年度総会の承認を得なければならない。</p>	<p>第 16 条（決算報告の提出、承認）</p> <p>理事長は、決算報告を事業年度終了後延滞なく作成し、監事の監査を経て次年度 理事会のけつぎを経た後、事業年度終了後 2 ヶ月以内に次年度総会の承認を得なければならない。</p>
<p>第 17 条（決算期間）</p> <p>決算期間は、定款第 48 条に定める期間とする。</p>	<p>第 17 条（決算期間）</p> <p>決算期間は、定款第 33 条に定める期間とする。</p>

